

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 5年 4月

事業所名 ジムズキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習室と活動スペースで分けており、十分な広さを確保している。	広さを生かした活動を行っていく。
	2 職員の配置数は適切である	○		他事業所と連携をし、利用人数に応じて職員数を変動させている。	今後も他の事業所と連携を取っていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	一部スロープの設置をしている。	手すりの設置を検討する。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		全職員が周知している。月に一度、店舗会議、全体会議を行っている。	今後も、行っていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート結果を元に改善に努める。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一回以上の面談を行っている。	職員間で共有をし、利用者様に適した支援を行っていく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		全職員が意見を出し合い、幅広い療育ができるよう、話し合いをしている。	活動後の振り返りをして、職員間で共有する。また、改善点・課題を明確にする。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		室内での療育はもちろん、外出先でも、さまざまな体験ができるよう、考えている。	利用者様により偏りがなく、考えていく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者様の要望にもお応えし、活動プログラムを作成している。	子どもの変化に伴い、柔軟に対応していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		役割分担を細かく行っている。	今後も継続していく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日全職員で振り返りをし、記録している。	今後も継続していく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人ノートを作成し、毎日記入している。	今後も毎日欠かさず行う。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回以上行っている。相談支援事業所、保護者様と連携し、利用者様に寄り添った計画をしている。	相談支援事業所と密に連絡を取り合う。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		実施している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		下校時刻の確認は複数の職員でダブルチェックを行っている。	今後も送迎時、学校との情報共有をし、保護者の方にお伝えしていく。 緊急時、学校とすぐに連絡が取れるよう、担任の先生の名前・クラスを全職員が把握しておく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		該当者がいないため、未実施。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		今後行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		該当者がいないため、未実施。 情報提供の準備をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナの緩和状況を見て、今後行っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や、電話でお伝えしている。 話をする内容により、分けている。	保護者様と今後も密に連絡、面談をし、よりよい支援ができるようにする。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	実施していない。	今後検討する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	今後も、理解していただけるよう、丁寧な説明を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		直接話をする場を設けるなどして、丁寧に対応している。 また、職員間で必ず共有している。	具体例を上げるなど、わかりやすくお伝えしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	実施していない。	進学説明会・就職説明会・保護者会の検討をしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		実施している。	ご意見を頂いた場合、全職員が周知し対応していく。また、どのように改善していくのか、保護者様に丁寧に伝える。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Instagramや、LINE等で、日々の様子を写真付きでお伝えしている。	予約シートの活動概要を細かく記載していく。 また、行事予定は予めお伝えする。
	35	個人情報に十分注意している	○		Instagramへの写真掲載は顔や名前が映らないよう、十分注意している。 また、個人ファイルは鍵付きの棚に収納している。	今後も継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	事業所の行事に招待することはなかったが、地域の行事に参加させていただいた。	今後検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	職員は研修を行い、マニュアルの策定をしている。	保護者様への周知も行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		半年に一度行っている。また、年に一度地震体験・消火器体験等を行っている。	半年に一度行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		対応している。	虐待防止等の資料を設置し、職員全体で周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に行っている。	具体例をあげるなど、わかりやすくお伝えしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		年に一度必ずアレルギーに関する調査を行っている。また、検査を実施した場合、すぐに教えて頂くよう、契約時に予めお伝えしている。	今後も契約時に、アレルギーについての説明を細かくしていく。 また、対応方法について、全職員が周知する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内はもちろん、他事業所との共有もしている。	ヒヤリハット報告書を作成後、全職員が周知するようにしていく。